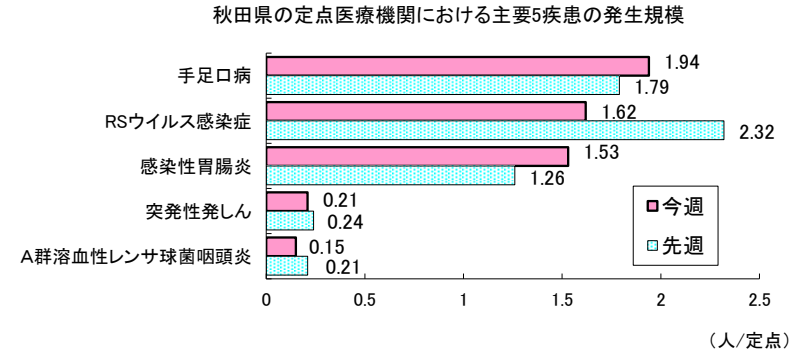




【第28週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

- 手足口病は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、湯沢で増加、大館、秋田中央で同規模、由利本荘、大仙で減少しています。
- RSウイルス感染症は、県全体で30%減少しています。保健所別では、大仙で増加、秋田中央で同規模、秋田市、由利本荘、横手、湯沢で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、能代、横手、湯沢で増加、大仙で同規模、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、由利本荘で減少しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県		秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢			
	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減			
RSウイルス感染症	2.32	1.62	↘	9.00	7.14	↘							0.25	0.25		2.50	0.25	↘		0.50	↗	0.67		↘	1.00	0.33	↘			
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.21	0.06	↘	0.14	0.14											0.25		↘	1.25	0.25	↘									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.21	0.15	↘	0.14		↘	0.25	0.25											1.25	1.00	↘									
感染性胃腸炎	1.26	1.53	↗	2.43	1.29	↘	1.00	0.25	↘	0.50		↘	2.67	4.33	↗	1.50	1.25	↘	0.25		↘	1.00	1.00		0.33	1.00	↗	0.33	5.67	↗
水痘	0.15	0.06	↘	0.29	0.14	↘										0.25	0.25		0.25	0.25					0.67		↘			
手足口病	1.79	1.94	↗	2.00	2.71	↗	0.25	0.25								0.25	0.25		10.75	10.25	↘	0.50	0.25	↘				1.00	↗	
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.24	0.21	↘	0.29	0.14	↘	0.50	0.25	↘		1.00	↗		0.33	↗				0.50		↘				0.33	0.67	↗	0.33		↘
ヘルパンギーナ	0.06	0.15	↗		0.43	↗													0.50		↘		0.50	↗						
流行性耳下腺炎		0.03	↗																	0.25	↗									
川崎病																														
急性出血性結膜炎		0.14	↗							*	*		*	*		*	*						1.00	↗	*	*				
流行性角結膜炎	0.14		↘	0.33		↘				*	*		*	*		*	*								*	*				
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-27週		28週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	7568	34	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	12		
	腸管出血性大腸菌感染症	1035	13	5
	腸チフス	9		
四類	パラチフス	3		
	E型肝炎	232		
五類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	44		
	エキノコックス症	14		
	黄熱			
	オウム病	4		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	7		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	69		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			
	チクングニア熱	4		
	つつが虫病	95	7	
	デング熱	19		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
ニパウイルス感染症				

類型	疾患名	1週-27週		28週
		全国	秋田	秋田
四類	日本紅斑熱	135		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア	10		
	野兔病			
	ライム病	3		
	リッサウイルス感染症			
五類	リフトバレー熱			
	類鼻疽	1		
	レジオネラ症	910	8	
	レプトスピラ症	3		
	ロッキー山紅斑熱			
	アムーンバ赤痢	264	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	111		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	833	6	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	12		
	急性脳炎	154	1	
	クリプトスポリジウム症	6		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	94		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	386		1
	後天性免疫不全症候群	464		
ジアルジア症	19			
侵襲性インフルエンザ菌感染症	92	1		
侵襲性髄膜炎菌感染症	4			
侵襲性肺炎球菌感染症	663	5		
水痘(入院例に限る)	169	5		
先天性風しん症候群				
梅毒	5883	19		
播種性クリプトコックス症	76			
破傷風	43			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	82			
百日咳	276	3		
風しん	4			
麻しん	1			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	4			
* 新型コロナウイルス感染症		30921	2070	

* 新型インフルエンザ等感染症

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が大館保健所管内から1人、大仙保健所管内から3人、横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の劇症型溶血性レンサ球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から1017人、大館保健所管内から274人、北秋田保健所管内から64人、能代保健所管内から79人、秋田中央保健所管内から109人、由利本荘保健所管内から183人、大仙保健所管内から242人、横手保健所管内から85人、湯沢保健所管内から17人、報告されました。

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症*4件、手足口病3件の集団発生報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
RSウイルス感染症	羽後町	KAGARIBI KIDS	7/11	6名のうち3名	10名のうち0名	3名	7/6 ~ 7/11	発熱、咳
	秋田市	ナーサリー土崎	7/13	127名のうち13名	33名のうち0名	13名	6/28 ~ 7/13	発熱、咳
	八郎潟町	八郎潟 たいようこども園	7/13	108名のうち16名	51名のうち0名	16名	7/4 ~ 7/13	発熱、咳
	秋田市	ゆめの樹保育園	7/14	12名のうち6名	11名のうち0名	6名	7/12 ~ 7/14	発熱、咳、 咽頭痛、鼻汁
手足口病	由利本荘市	亀田保育園	7/12	39名のうち10名	17名のうち0名	10名	6/27 ~ 7/12	発熱、発疹
	由利本荘市	中央保育園	7/13	144名のうち28名	34名のうち0名	28名	7/5 ~ 7/13	発熱、発疹
	鹿角市	わんぱくはうす	7/15	85名のうち10名	31名のうち0名	10名	7/6 ~ 7/15	発熱、発疹

*** RSウイルス感染症について**

6月以降、秋田県内においてRSウイルス感染症の患者報告数および集団発生報告数が増加しています。今後しばらくは報告数の多い状況が続くと思われるので、流行状況に注意し感染予防に努めましょう。

■症状

原因となるRSウイルスには、1歳までに半数が、2歳までにほぼ全ての幼児が1度は感染するとされています。感染から4～6日の潜伏期間の後、発熱や咳・鼻汁などといった上気道炎の症状が現れ、中耳炎の合併や、肺炎、気管支炎へと進行することもあります。特に、1歳未満の乳児が初めて感染した場合は症状が重くなりやすいといわれています。重症化すると無呼吸発作などを起こすことがあり、入院が必要となる場合もあるため、注意が必要です。

■予防

主な感染経路は接触感染と飛沫感染です。こまめな手洗い、マスクの着用等の日常的な予防対策に加え、子どもたちが触れるおもちゃ、ドアノブなどをアルコール系消毒剤等で消毒しましょう。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
手足口病	-	由利本荘(10.25)
急性出血性結膜炎	-	横手(1.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		